



めだか のすめる たんぼ づくりをめざして

宮城県石巻地方振興事務所 農業農村整備部

〒986-0812 石巻市東中里1丁目4-32

Tel 0225(95)1411 (内)473

Fax 0225(96)4880

E-mail iss-s-kt@pref.miyagi.jp

URL <http://www.pref.miyagi.jp/issgsin/nn>

編集・発行 (創刊平成15年2月)
宮城県石巻地方振興事務所 農業農村整備部

河北町の「アグリビジネス創造型生産 基盤整備支援事業」の取り組みについて

農産物直売所の成功を目指して!

河北町の道の駅「上品の郷」が3月25日にオープンします。その目玉となる農産物直売所の成功に向けて、出品予定農家69名に対し、研修等様々な支援を実施しています。

大谷地地区、大川地区、飯野川地区そして採択を目指している三輪田地区と河北町のほ場整備が進むなか、町では、ほ場整備を契機としたアグリビジネスの展開による農家収入の拡大等を目指しています。そこで「アグリビジネス創造型生産基盤整備支援事業」により、先進地視察研修や新規作物の試験栽培、各種講習会等を実施し、生産体制の整備や販売戦略の検討を進めています。



道の駅「上品の郷」イメージ



栽培講習会の様子

直売所に多様な品目を出品するため、新たな野菜や果樹の試験栽培を実施しました。野菜はアスパラ菜や京菜など7品目を実施しましたが、品質の高いものが収穫でき、商品化の目途が立ちました。



先進地視察研修の様子

産直の先進地から、成功へのヒントを得ようと、亘理町の「逢隈ふれあいセンター」と福島県相馬市の道の駅「そうま」にて視察研修を行いました。生産者としての課題や工夫など、様々な事を学ぶことができ、有意義な視察となりました。

知っていますか? 石巻農業農村整備部のホームページ

農業農村整備部のページでは、石巻管内の事業概要や「ふるさと学習講座」、「田んぼの生きもの調査」の情報などを掲載しています。また、NN通信のバックナンバーも掲載しています。

URL: <http://www.pref.miyagi.jp/issgsin/nn/nn-top.htm>

担当: 計画調整班

Nougyou Nouson いしのまきNN通信



上品山山頂より望む石巻管内の風景

「いしのまきNN通信」は、農業農村整備事業に対する理解を得ることを目的に、年3回程度発行しております。掲載希望の情報等がありましたら計画調整班までご一報ください。今後ともよろしく申し上げます。

県営ほ場整備事業桃生町全整備地区完工式について

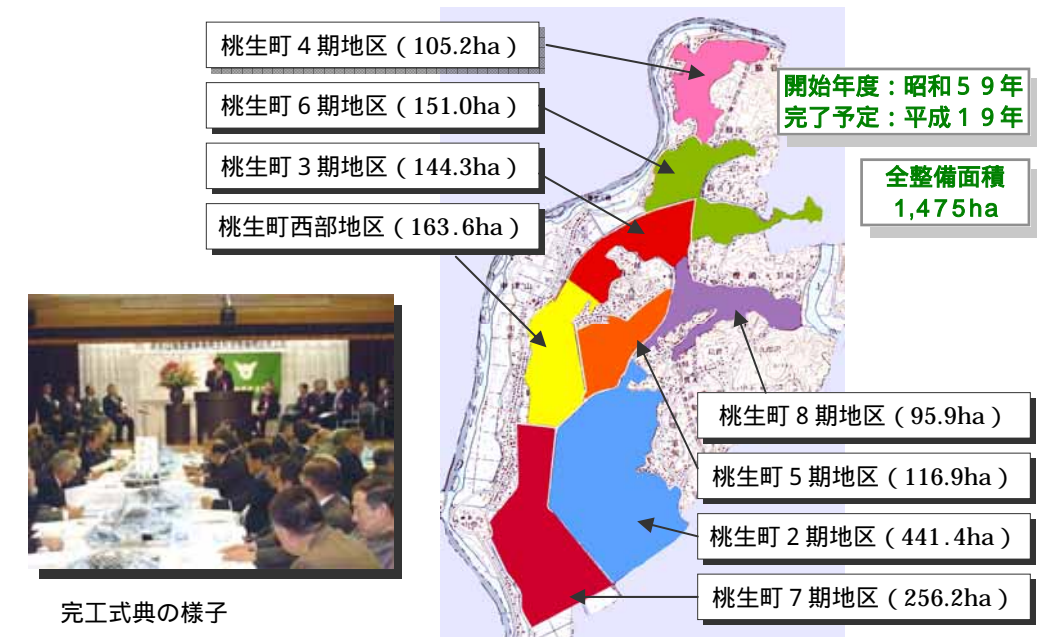
2月8日に「県営ほ場整備事業桃生町全整備地区完工式」が、桃生町のいしのまき農協桃生中央支店「パレス瑞穂」で開催されました。昭和59年度の西部地区を皮切りに8期地区まで、実に21年の歳月と事業費約185億円を費やし、1,475haの水田基盤整備が完了しました。ほ場整備を契機とし、全町体制のブロックローテーション転作の実現、生産法人・生産組織の充実発展、農地の流動化等、本事業の波及効果の大きさが実感されております。

担当: 農地整備第2班

第6号の目次:

ほ場整備事業桃生町全整備地区の完工について	1
ほ場整備「大川地区」の塩害対策について	2
河南4期活性化委員会活性化ビジョンの完成	3
河北町道の駅のアグリビジネス事業について	4
石巻農業農村整備部のホームページについて	4

桃生町ほ場整備事業全8地区の整備状況



完工式典の様子

ほ場整備事業「大川地区」の塩害対策プロジェクトについて ～塩害の出ない水田整備を目指して～

大川地区の概要

平成10年度県営ほ場整備事業として採択された河北町の大川地区は、昨年度策定された河北町地域水田農業ビジョンにおいて優良農地として位置付けられ、河北町の営農先進地として期待されています。

その一方で海に隣接している本地域(特に長面工区)では、恒常的に塩害被害(未成熟状態の不成粒米が圧倒的に多いと言った現象であり、当然米の減収という被害を受ける)に悩まされており、塩害の抜本的解決に向けて、ほ場整備に対する期待が大きくなっています。



大川地区全景(右上が北上川河口)

塩害対策プロジェクト組織

そこで今回、塩害の出ない水田整備を目的に、本地区の関係機関(石巻農業農村整備部、農業改良普及センター、河北町、北上川沿岸土地改良区、大川地区ほ場整備実行委員、設計コンサルタント、施工業者)で塩害対策プロジェクトを組織しました。

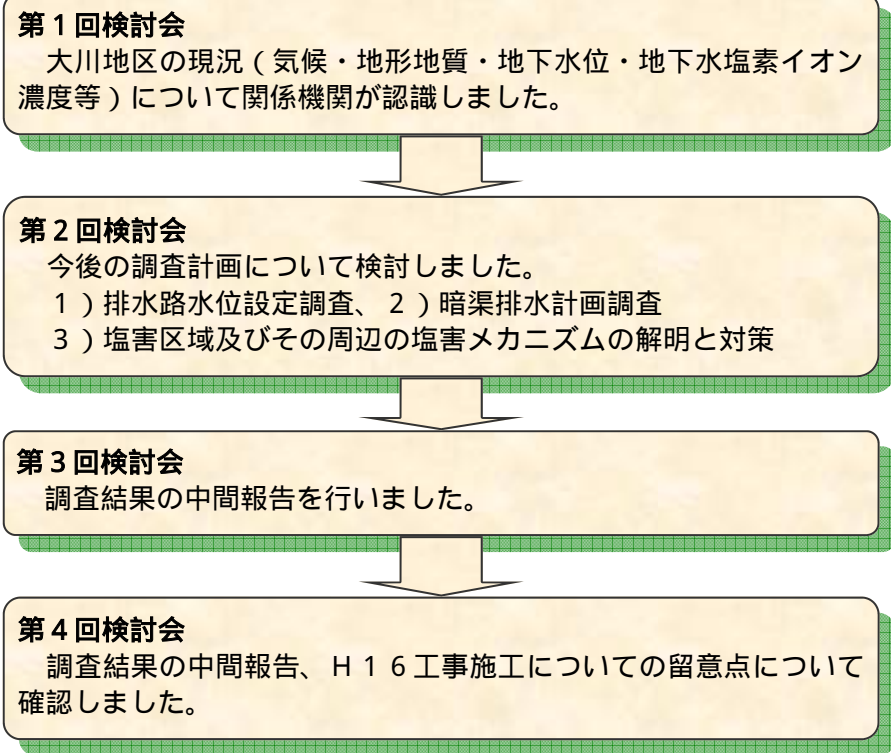
上記のとおり、プロジェクトは様々な関係機関から組織されており、現地調査、設計から施工まで十分な検討が出来るような体制にあります。



塩害の状況

平成16年度の活動状況

本年度は2月現在、下記のとおり計4回の検討会を開催しました。



検討会の様子

今後の予定

今後は、調査結果を基に、塩害対策工法を検討し、工事の施工に反映していく予定です。

担当: 農地整備第3班

河南4期地域活性化委員会の取り組みについて ～河南4期地域農村活性化ビジョン～

「農村活性化ビジョン」の策定

河南町須江の欠・館・茄子川集落では、「みやぎの生き生き地域づくり支援事業(みやぎ手づくりプラン)」を実施し、農村活性化ビジョンを策定しました。平成15年度から約2カ年の歳月をかけて「地域ぐるみ」で作成した、いわば”手づくりの地域振興計画”です。

策定にあたっては、地域の様々な課題を整理しながら、農家だけでなく非農家の意見もできるだけ取り入れるため、アンケートや集落点検、地域交流イベントなどを開催するなど、様々な活動を展開しながら、地域の将来の夢と実行計画を形にしました。



活性化委員の集合写真

「農村活性化ビジョン」の概要

詳しくは、石巻農業農村整備部のホームページをご覧ください。

【基本方針】

きょうどりょうり

～活性化ビジョンは“郷土良里”のレシピ集～

素材は? : 河南4期地域の自然・文化・農業です。
 素材を活かすコツは? : みなさんの地域への想いとアイデアです。
 ポイントは? : 無理せず、じっくり、出来ることからコツコツ。
 おいしさの決め手は? : みんなで考え、みんなで話し合い、みんなで行動することです。



集落点検マップ作り

【目標と対策】

営農 『全ての住民が農の喜びを共有できる地域営農環境の実現』
 経営感覚に優れた担い手の育成や、楽しみながら農業に従事できる「生きがい農園」の整備、団地との交流を図る「ふるさとふれあい市」の開催や「市民農園」の整備など。

農地利用 『ほ場整備を契機とした効率的・合理的な土地利用の実現』
 ほ場整備による大区画化・汎用化、担い手への農地利用集積、土地利用調整組織の立ち上げと支援体制の整備など。

生活環境 『伝統と文化に彩られた自然豊かな田園空間づくり』
 ホタルが飛び交う水田空間の回復、花壇整備や清掃活動による美しい田園景観の形成など。



ふるさとふれあい市



活性化委員の様子

ここでは活性化ビジョンの一部を紹介しました。さらに、今後の実行計画として、短期的な計画や10年後を見据えた長期的な計画等が示されています。これから河南4期地域では、ほ場整備事業の推進など、ビジョンの実現を目指し、様々な実践活動を展開していきます。

担当: 計画調整班